事業番号	15 04 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S24 ～	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）

8つの重点目標	
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）

【現　　状】
・特別支援学校の施設設備の経年による劣化や教室不足等に対して、施設設備の修繕・改修による学習環境・生活環境の改善及び中長期的な施設改修計画の策定が課題となっている。
・スクールバスの定員の限界や運行エリアが狭いことにより、希望しても乗車できない児童生徒がいる。
【目指す姿】
・児童生徒にとって、安全・安心な教育環境を確保する。
・スクールバスを計画的に配備することにより、児童生徒の通学の安全と利便性を確保し、保護者等の送迎負担を軽減する。
【実施内容】
施設計画整備、スクールバスの配備など

指標及びその達成状況 ［↗：改善、↘：悪化、→：変化なし］

No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況
1	施設整備を行う箇所数	54	46 ↘	49 ↗	46	達成
2						
3						
4						

事業コスト

区分（単位：千円）		H30年度	R1年度
予算額	前年度繰越	0	1,279,342
	現計予算	1,976,492	700,448
	合計(A)	1,976,492	1,979,790
	うち一般財源	405,266	430,671
決算額(B)		609,710	1,882,444
職員数（人）		3.13	3.13

成果指標設定理由	1 集中的に施設整備を３か年で実施
達成状況の分析	1 計画的に整備を実施し、目標値を達成できた。

主な取組

✓ 老朽化した学校施設を計画的に修繕
・学校生活維持に必要不可欠な修繕・改修を３ヵ年（Ｒ元～Ｒ３）で計画的に実施
・令和元年度の計画46箇所、実績49箇所

トイレの洋式化

✓ トイレを洋式化、多目的化へ整備
・各特別支援学校において洋式化率80%以上、多目的化率20%以上の達成を目指し、令和元年度から５年度まで計画的に整備
・令和元年度の計画・実績（洋式化８箇所、多目的化４箇所）、目標達成５/18校

空調の設置

✓ 各教室等へ空調設備を整備
・各学校すべての普通教室と通常使用する特別教室及び管理諸室へ空調設備の設置

✓ 施設改修等による学校生活安全性の向上（Ｒ１．10～）
・廊下、非常口の段差解消が必要な３校の工事を実施
・人工呼吸器使用の児童生徒在籍の16校において、医療的ケア用非常用自家発電機を整備

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課　題　等	今後の方向性
	・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と教育環境の向上及び施設の長寿命化が必要となっている。	・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。
	・今後の長野県の特別支援教育の在り方を具現化するため、整備基本方針が必要である。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては改築等の対応が必要である。	・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針について継続的に検討する。
	・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。	・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。

事業番号	15 04 02	細事業一覧（令和元年度実施事業分）　□当初要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検			
事　業　名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業No.	細事業名	H30年度 決　算	R１年度 決　算
1	給与費等	38,120 千円	36,835 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度　実施内容(実績)
1	スクールサポートスタッフ配置事業	直接	特別支援学校にスクールサポートスタッフ（１人）を配置し、教員の負担を軽減
2	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師（２人）を任用し、教育カリキュラムを充実
3	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員（４人）と早期教育相談員（４人）を配置
4	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤講師を任用（２人）
5	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替員の配置

細事業No.	細事業名	H30年度 決　算	R１年度 決　算
2	就学奨励事業費	304,146 千円	289,492 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度　実施内容(実績)
1	特別支援教育就学奨励費事業	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者に対する就学奨励費の支給（国負担1/2）

細事業No.	細事業名	H30年度 決　算	R１年度 決　算
3	特別支援学校整備事業費	159,819 千円	1,409,623 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度　実施内容(実績)
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	18校、49か所において施設整備を実施 12箇所においてトイレの整備を実施（洋式化８箇所、多目的化４箇所） 松本養護・若槻養護基本方針検討懇談会の設置
2	学校生活安全性向上事業	直接	【９月補正】転倒事故の防止や安全な避難経路を確保するための廊下・非常口の段差解消（３校） 非常時に医療機器の稼働に必要な電源を確保するための非常用自家発電機の整備（16校）

細事業No.	細事業名	H30年度 決　算	R１年度 決　算
4	特別支援学校運営費	107,625 千円	146,494 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度　実施内容(実績)
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。
2	通学バス・公用車整備事業費	直接	スクールバス2台を更新 【９月補正】乗車希望に対応するのためのスクールバスの増車（３校）
3	特別支援学校学習環境整備基金事業費	直接	基金運用益の利子を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入
4	特別支援学校臨時休業対策事業費	直接	【３月専決】３月の臨時休業に伴う給食用食品納入業者の不要食品処分費用や衛生管理設備の更新費等を助成（R２年度に全額明許繰越）